

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	体力練成中における、捻挫
3. 体験した事例の中心的要素	初任科学生に対し、チーム毎による馬跳び競走を実施した際、Uターンをする場所が狭くなり、渋滞が発生、そこに制御できない学生が飛び込み、捻挫したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	計画の見込みの甘さから来る危険予知の不足及び体力不足から来る注意散漫

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。 行動の実行に問題があった。
------------------	-------------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 17 年 8 月 0 日 午前 10 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：消防署車庫前
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒
7. 事例体験時の活動	その他： []
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	体力練成・測定訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[40]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[18]年、階級[消防司令補]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [複数隊の隊長]
○当事者B	年齢[22]歳、勤続年数[0]年、現場経験年数[0]年、階級[消防士]、同様の活動 [初めて]、任務 [その他：初任科学生]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	全員が	2班に別れて馬跳びの競走を始めた。	
経過2	全員が	Uターンする地点に到着し、混雑し始めた。	
経過3	Bが	混雑した中へ勢いあまって飛び込んだ。	
経過4	Bが	接触(衝突)を避けようと無理に着地したため、捻挫した。	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思いませんか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思いませんか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。避難・退避がうまくいかなかった。周囲の視界が確保できていなかった。指揮者が適切に指示しなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	はい
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：競争なので急がなければという意識が強まり、周囲の状況の判断をしにくくなっていた（体力が不足していた）。また、危険を察知した管理者が強力な統制をかけなかったため。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

危険に対する先読み能力を強く意識するようにした。安全管理は自己が基本ということを徹底させた。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

周りを有効に使う意識を持たせた。(施設を広く使う等)

○指揮・情報伝達の対策について

安全管理員が上下の別なく、注意喚起出来る環境づくりが必要。

